

TOTO

小型電気温水器(元止め式)

湯ぽっと



REAH06型/REAK06型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。


7 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けいただき、使用者への危害や財産への損害
および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡 または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を 負う可能性および物的損害のみの可能性が想定される内容を 示しています。

絵表示については次の意味があります。






絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		アースを 接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具の
ガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書(保証書付)」は、使用者に商品を正しく安全に
使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保
管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。



警告

	分解禁止 修理技術者以外の方は、この説明書に記載された項目以外は絶対に 分解・修理・改造は行わない 感電や故障の原因になります。
	水場での使用禁止 水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に 浴室やシャワールームには使用しない 感電や故障の原因になります。
	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
	水・油・洗剤などがかかる位置に電気温水器本体および電源プラグ用の コンセントを設けない 感電や故障の原因になります。
	電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない 感電・火災の原因になります。
	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない 感電や火災の原因になります。
	アース接続 電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」 が行い、アース(D種接地工事 100Ω以下)工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

7 安全上の注意 (つづき)

警告



必ず実行

漏電遮断器を取り付ける 感電や火災の原因になります。

開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する
段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



禁止

タンク内が満水になっていないときは、絶対に「沸き上げ運転」スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

水道水以外は通水しない
井戸水や造水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。

商品に強い力や衝撃を与えない 故障や水漏れの原因になります。

専用水栓の吐水口にホースや浄水器、節水器具などの抵抗となるものを接続しない
機器の破損や水漏れの原因になります。



接触禁止

吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行う
やけどをするおそれがあります。

水抜きを行うときは、必ず「沸き上げ運転」スイッチを「切」にする
空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。



必ず実行

当商品は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防処置(保温材巻、電気ヒーターなど)を行う
凍結破損し水漏れするおそれがあります。

必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける
凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。

必ず専用水栓を使用する 水漏れの原因になります。

フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓または元栓を閉めてから行う
水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

お願い

給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.07MPa・最高水圧(静止時)0.75MPaです。
この圧力の範囲内でご使用ください。
(0.07MPa未満で使用すると流量が少なくなります。)

取扱説明書内の保証書に、取付工事店または販売店名および引渡し日を必ず記入してください。

必ずフィルター付きアングル形止水栓(必要別売品)を取り付けてください。

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
(鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り、作動不良を起こす場合があります。)

空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。

ケースに貼られている注意事項は必ずお読みください。

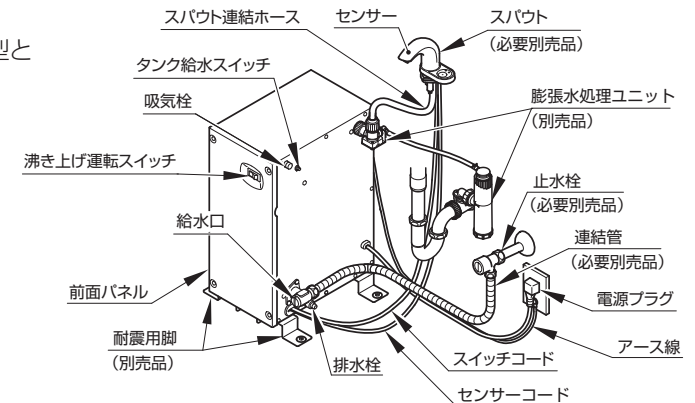
2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①電気温水器本体	②水抜きチューブ、取扱説明書(保証書付)、施工説明書、自動吐水ラベル
	 L=300mm  取扱説明書  施工説明書(本紙)  自動吐水ラベル <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">お客様にお渡しください</div>

3 各部の名称

【REAH/K06 型】
※図は、TENA61 型とセットの場合

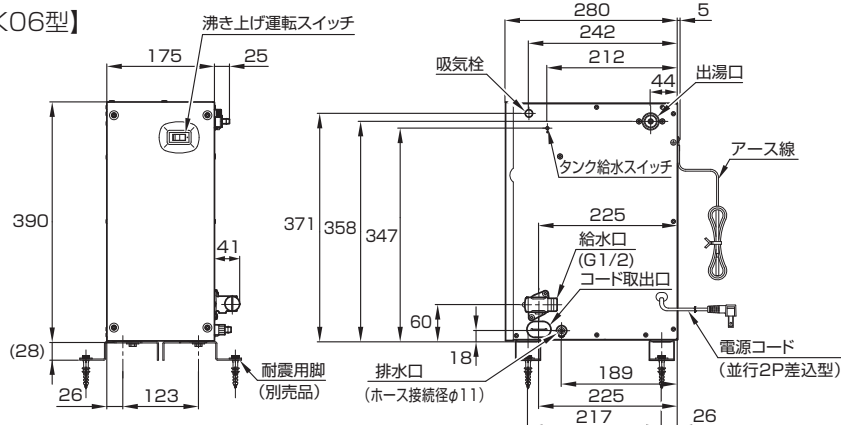


4 仕様

- 給水方式 : 元止め式
- 沸上がり温度 : 約 70℃
- 出湯温度 : 約 36℃
(温度範囲約 30~40℃)
- 使用可能環境温度 : 1~40℃
- 安全装置 : 自動復帰式バイメタル+
手動復帰式バイメタル
- 最低必要水圧(流動時) : 0.07MPa
- 最高水圧(静止時) : 0.75MPa
- 商品質量(満水時) : 約7kg(約13kg)
- 詳しくは取扱説明書を参照ください。

5 寸法図

【REAH/K06型】



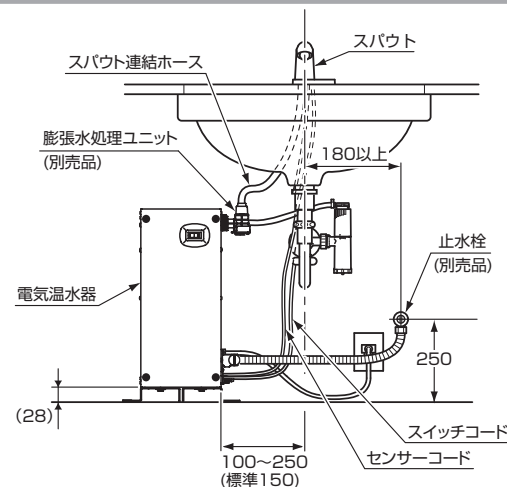
6 別売品一覧 ★印は必要別売品です。

品名	形状	品番	ワンタッチ式排水金具対応	備考
★スパウト (Aタイプ)		TENA61AH型 (湯水切り替えスイッチ付き)	○	専用 自動水栓
		TENA40AH型	—	
		TENA41AH型	○	
★スパウト (グースネックタイプ)		TEN84GH型 (湯水切り替え、手動スイッチ付き)	—	専用 自動水栓 (電気温水器の 定流量弁交換必要)
		TEN85G1H型 (湯水切り替え、手動スイッチ付き)	○	
★スパウト (コンテナタイプ)		TENA12AH型	—	専用自動水栓

※ワンタッチ式排水金具対応品は、別途ワンタッチ式排水金具が必要となります。
 ※既存の排水金具にスパウトの取り替えを行う場合は互換性に注意してください。

品名	形状	品番	備考
★アングル形 止水栓		TL347CU	給水用フィルター付き (壁給水用) (開閉工具付き)
		TL347C1R	給水用フィルター付き (床給水用) (開閉工具付き)
耐震用脚		RHE706	床に直接設置 (コンクリート、木の床)
★連結管		RHE436-20	L=200mm
		RHE436-30	L=300mm
		RHE436-35N	L=350mm
		RHE436-40	L=400mm
		RHE436-45N	L=450mm
		RHE436-50	L=500mm
RHE436-60	L=600mm		
膨張水処理 ユニット		RHE710R	—
ウィークリー タイマー		RHE657S	外付けの ウィークリータイマー
		RHE658S	凍結防止機能の 付いたタイマー

7 施工例



8 取付手順

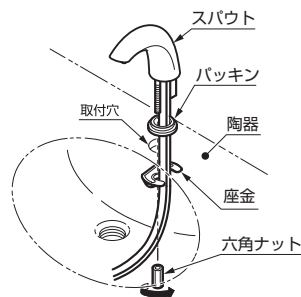
注意 施工の際は、けが防止のため手袋などを着用して行ってください。

1. 電気温水器の設置

床に直に設置する場合は必ず別売品の耐震用脚(RHE706)をご使用ください。
取付の際は、必ず耐震用脚の施工説明書をご覧ください。

2. スパウトの仮締め

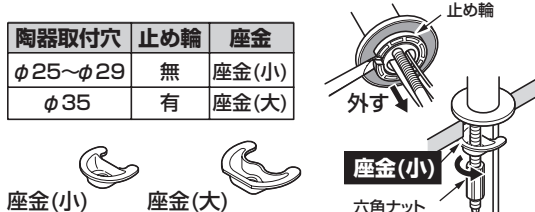
- ①スパウトを陶器取付穴に差し込む。
- ②座金を六角ナットで仮締めする。



注意 スパウト連結ホースとコード類をかみませないようにしてください。

コンテナタイプを取付穴φ25~φ29に取り付ける場合

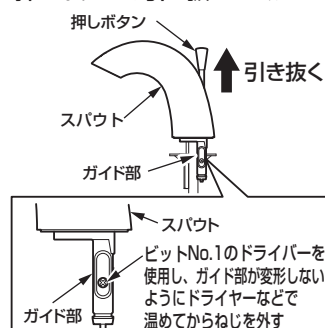
- ①スパウト裏側の止め輪を取り外す。
- ②同梱の座金(小)に取り替える。



注意 スパウト連結ホースとコード類をかみませないでください。

Aタイプ(ワンプッシュ対応品)をポップアップ式排水金具に接続する場合

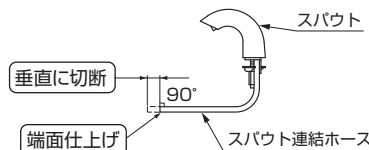
スパウトガイド部のねじを外し、押しボタンを引き抜いてください。



3. スパウト連結ホースの切断

スパウト連結ホースを電気温水器の接続口に合うように適切な長さに切断する。

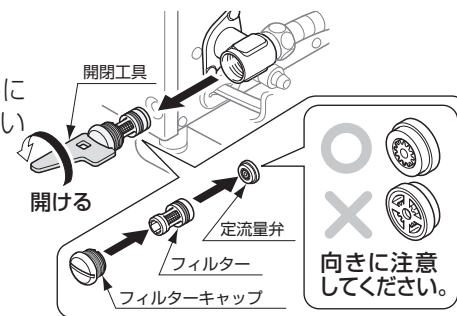
注意 カッターなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。



4. 定流量弁の交換

スパウトがグースネックタイプの場合は、スパウトに同梱の定流量弁に必ず交換してください。交換しないと吐水流量が不足して手洗いがしにくくなります。

- ①フィルターキャップ・フィルターを外す。
- ②フィルター先端についている定流量弁を取り外し、スパウトに同梱されている定流量弁を取り付ける。
- ③フィルターキャップ・フィルターを取り付ける。



5. スパウト連結ホースの接続

袋ナット仕様の場合

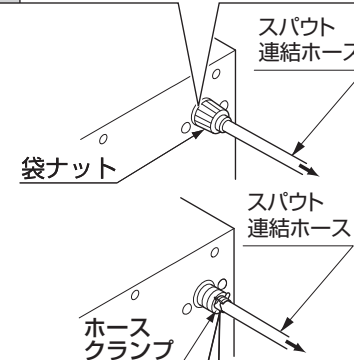
- ①スパウト連結ホースに袋ナットを通す。
- ②ホースを出湯口に差し込む。
- ③袋ナットを**手で締め付ける**。

※ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
※必ず袋ナットでホースを固定してください。

ホースクランプ仕様の場合

- ①スパウト連結ホースにホースクランプを通す。
- ②ホースを出湯口に差し込む。
- ③ホースクランプでホースを固定する。
※ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
※ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
※ホースクランプは所定の位置にしてください。
※必ずホースクランプでホースを固定してください。

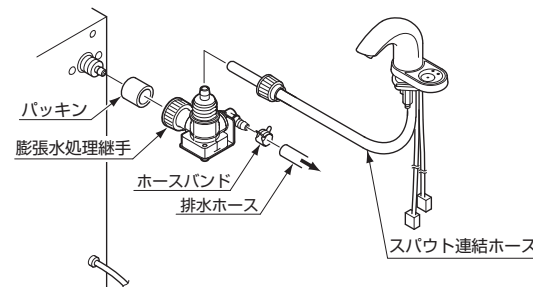
注意 手で締め付けてください。(工具で締め付けると袋ナットが破損し、水漏れするおそれがあります。)



注意 ホースクランプがホース継手の上面に付くこと
に注意してください。
※ホースクランプは所定の位置にしてください。
※必ずホースクランプでホースを固定してください。

別売品の膨張水処理ユニットを取り付ける場合

膨張水処理継手を取り付けてから、スパウト連結ホースを取り付けてください。
※詳しくは膨張水処理ユニットの施工説明書をご覧ください。



8 取付手順 (つづき)

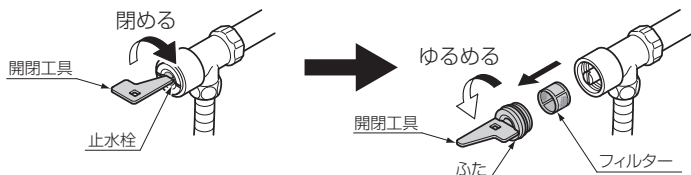
6. 給水管の接続

⚠ 注意

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
 フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓または元栓を閉めてから行う
 水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

①給水口に接続する前に止水栓フィルターの網目に詰まったゴミなどを取り除く。



②止水栓と給水口を連結管で接続する。

注意 電気温水器と止水栓の接続はフレキシブル管を使用してください。(鋼管などで接続するとシール剤などが内部に入り動作不良を起す場合があります。)

必ずパッキン(図示)を入れてください。

注意 連結管は、極端に折らないでください。

R40以上

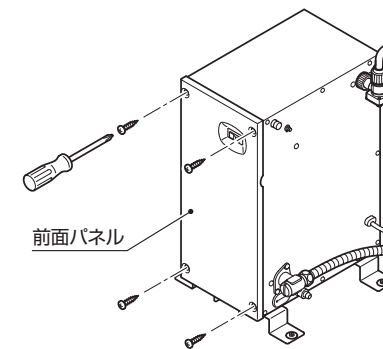
連結管は機器本体側が低くなるよう勾配をつけて取り付けてください。

❌

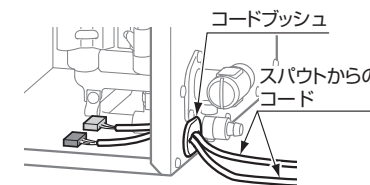
電気温水器側

7. コードの接続

①前面パネルを取り外す。
 (ねじを4カ所取り外してください。)



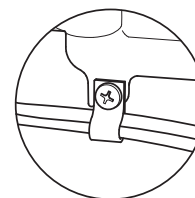
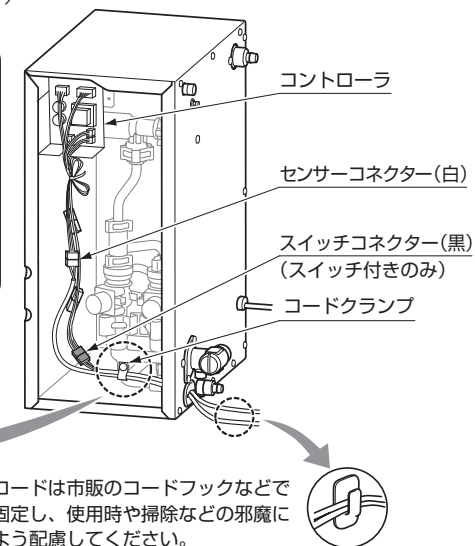
②スパウトからのコードをコードブッシュに通して電気温水器内部へ引き込む。



③コントローラからでてくるコネクターとスパウトからのコードを接続する。
 またコードクランプでコードを固定する。
 (2本の場合は2本とも固定してください。)

湯水切替タイプの場合 (REAK06型)
 スパウトからのコードは2本です。
 (センサーコード(4芯)、スイッチコード(6芯))

適温出湯タイプの場合 (REAH06型)
 コードは1本です。



機台外のコードは市販のコードフックなどで壁などに固定し、使用時や掃除などの邪魔にならないよう配慮してください。

注意 コネクターはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

9 電気工事について

⚠ 警告	
⊘	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
⚡	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事 100Ω以下）工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
	漏電遮断器を取り付ける 漏電や火災の原因になります。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 注意	
⊘	タンク内が満水になっていないときは、絶対に沸き上げ運転スイッチを入れない 空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

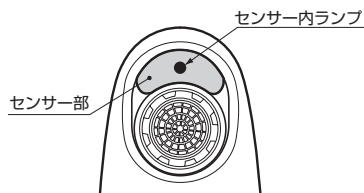
注意	電源が入ると直ちにスパウトセンサーの感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。 (約20秒間でこの動作は完了します。)
----	--

2. センサー内ランプの確認

センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウト先端のセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。

●確認が終わったら電源プラグを抜いてください。



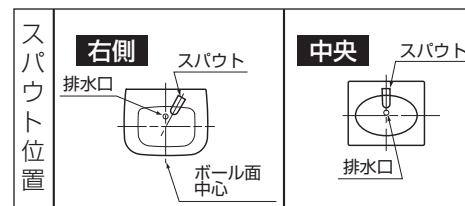
注意	陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがありますが、その場合はそのまま設定してください。(ランプの点滅は10分後に消えます。)
----	---

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動消滅するまでにスパウトの向き調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクター（白）を一度抜き、差し込み直してください。

3. スパウトの固定

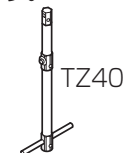
六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定する。

注意	<ul style="list-style-type: none"> ●スパウトを固定する際は、必ず陶器のボウル面中心に向ける。 ●クリーンドライ(温風乾燥器)などとのセットではクリーンドライのセンサービームが陶器内に入らないように、それぞれを離してセットする。 ●インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
----	--



※六角ナットの締め付け用として、別売で専用工具（TZ40L）を準備しておりますが、下記の一般工具でも取付可能です。

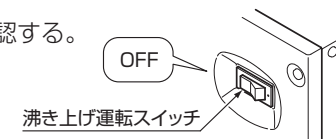
- ・ソケットレンチ（対辺13mm）
- ・T型レンチ（対辺13mm）
- ・ナットスピナーハンドル（対辺13mm）



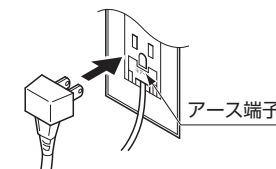
10 試運転

⚠ 注意	
⊘	タンク内が満水になっていないときは、絶対に沸き上げ運転スイッチを入れない 空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

①沸き上げ運転スイッチが「切」になっていることを確認する。

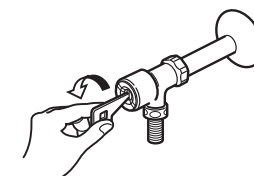


②電気温水器のアースをコンセントのアース端子に接続し、電気温水器の電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込む。



③止水栓を開ける。

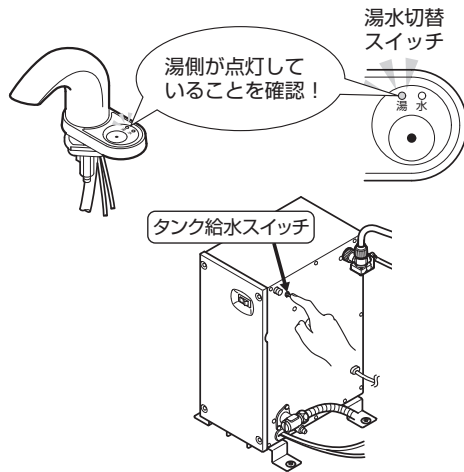
注意	<p>給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。 (水からにおいがするおそれがあります。)</p> <p>止水栓が開いた状態で電気温水器の電源プラグをコンセントに差し込むと5秒間吐水する場合がありますが、異常ではありません。</p>
----	--



10 試 運 転 (つづき)

ご確認ください

湯水切り替えスイッチ付きスパウトの場合は、湯側が点灯していること



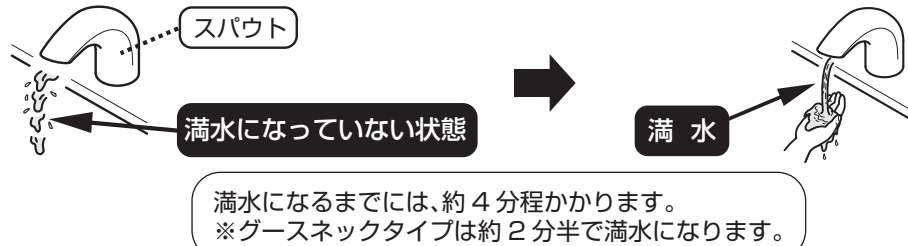
注意

湯水切り替えスイッチ付きスパウトの場合は、水側が点灯している状態では、タンク給水スイッチを押してもスパウトから吐水しますが、タンクに給水しません。

④タンク給水スイッチを押してタンクを満水にする。

空焚き禁止 (タンクが満水になる前に、沸き上げ運転スイッチを「入」にしない)

タンク給水中は、空気を巻き込んだ状態でスパウトから断続的に吐水します。満水状態になると吐水状態は安定します。(満水になったら、再度タンク給水スイッチを押し、水を止めてください。)



注意

タンク給水スイッチを押すと約5分間連続して水が出ます。(途中で再度スイッチを押すと、水は止まります。)約1分間しか水が出ない場合は電源プラグをコンセントより抜いて、5秒程度してから再度、電源プラグをコンセントに差し込み、タンク給水スイッチを押してください。

吐水状態が安定する前に水が止まったら、再度タンク給水スイッチを押して水の出方を安定させ、タンクを満水にしてください。

⑤スパウトの動作確認をする。

吐水しない場合は P.8参照

<センサーを使った場合>

- ・吐水口に手を近づけると水が出ます。
- ・手を離すと約1~2秒後に水が止まります。
- ・手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
- ・センサー前面から感知する位置に手をかざしたままにすると、その間(約1分間)連続して水が出ます。(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないまましていると約15秒で水が止まります。)



<手動スイッチ付きを使った場合>

- ・スイッチを押すと水が出ます。
- ・もう一度押すと止まります。
- ・約1分間連続して水が出ると自動的に止まります。

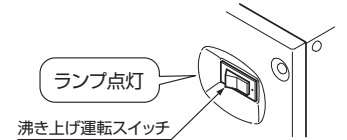


※電源プラグをコンセントに差し込んだあと、手動スイッチを押すと、最初の3回は1分以上水が出ることがありますが、もう一度スイッチを押すと水が止まります。

※膨張水処理ユニット取り付けの場合、吐水時に膨張水処理ユニットより排水されることがありますが、故障ではありません。

⑥配管接続部に水漏れがないか確認してください。

⑦沸き上げ運転スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。



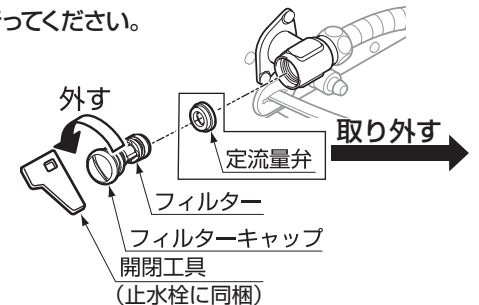
※沸き上がると自動温度調節器が作動し、沸き上げ運転スイッチのランプが消灯します。

⑧スパウトから出湯させ、流量を確認する。(方法は「⑤スパウトの動作確認をする」を参照)電気温水器内部に定流量弁を内蔵しているため、基本的には流量の調整は不要です。止水栓は全開にてご使用ください。ただし、圧力が低い場所では流量が不足する場合がありますので、下記方法にて流量を調整してください。

流量調節方法

※流量が不足する場合のみ、下記作業を行ってください。

- ①開閉工具で止水栓を閉める。
- ②開閉工具でフィルターキャップを外し、定流量弁を取り外す。
- ③開閉工具でフィルターキャップを本体に取り付ける。
※フィルターキャップの取り付けは確実に行ってください。
- ④止水栓を開け、流量調節をする。



スパウトからポトポト滴下する水について

膨張水処理ユニット無しの場合、沸き上げ中にスパウトから湯が出ます。これはタンク内部の膨張水を排出しているもので、故障ではありません。沸き上げが終わると、膨張水の排出は止まります。

<沸き上がり時間の目安>

給水温度	5℃(冬)	15℃(春・秋)	25℃(夏)
沸き上がり時間の目安	約39分	約35分	約30分

7 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。

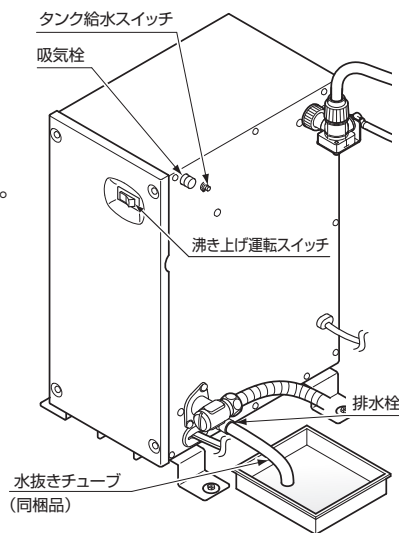
- ①沸き上げ運転スイッチを「切」にする。
- ②タンク給水スイッチを押して、スパウトより湯を出す。
- ※途中でスパウトから出ている湯の温度を確認し、湯が水になるまで、湯を出してください。

注意 タンク内に水が残っている状態で作業を行うと、やけどをするおそれがあります。
(沸き上がり直後のタンク内湯温:約70℃)

※水になる前に湯が止まったら、再度タンク給水スイッチを押してください。

沸き上げ運転スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてください。
(空焚きとなり故障、事故の原因となります。)

- ③湯を出し切ったら、止水栓を右に回して閉じる。
- ④電気温水器の排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、左に回す。その後吸気栓を左に回して取り外す。



注意



吸気栓に触れるときは、タンク内の湯を出し切って水になっていることを確かめてから行うやけどをするおそれがあります。

以上の操作で水抜きは完了します。
(タンクが満水の時、水抜きは約8分かかります。)

※水を抜く際は、必ず受け皿などで受けて下さい。
排水量は約6Lです。

12 水抜き後の処理

- ①電気温水器の排水栓を閉じる。
- ②吸気栓を取り付ける。
- ※排水栓、吸気栓が閉じられてないと、スパウトからの吐水時に水が飛び出します。

注意



当商品は寒冷地対応品ではないため、凍結のおそれのある場合は、必ず凍結予防処置(保温材巻、電気ヒーターなど)を行う凍結破損し水漏れするおそれがあります。

吐水しない場合

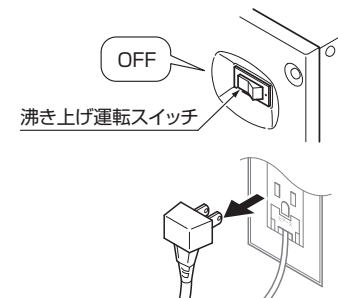
次の点検項目について、確認してください。

点検項目	処置方法	
停電していませんか？	停電していないか確認してください。	
電源プラグが完全に差し込まれていますか？	電源プラグ・コンセントを確認してください。	
断水していませんか？	断水していないか確認してください。	
止水栓が完全に開いていますか？	止水栓を開けてください。	
フィルターにゴミなどが詰まっていますか？	フィルターを掃除してください。	取扱説明書P.13「お手入れ」参照
スパウトコードを確実に接続していますか？	スパウトコードの接続を確認してください。	施工説明書P.5「コードの接続」参照
タンク内に水が入っていない状態で沸き上げ運転スイッチを入れていませんか？	空焚きとなり安全装置が作動している可能性があります。安全装置のリセット操作を行ってください。	施工説明書P.8「空焚き時の安全装置リセット操作」参照

空焚き時の安全装置リセット操作

- (1) 沸き上げ運転スイッチを「切」にする。
- (2) 電源プラグを抜く。
- (3) 吐水しなくなってから約30分待つ。

※空焚き直後は、タンク表面が高温になっているため、安全装置をリセットできません。

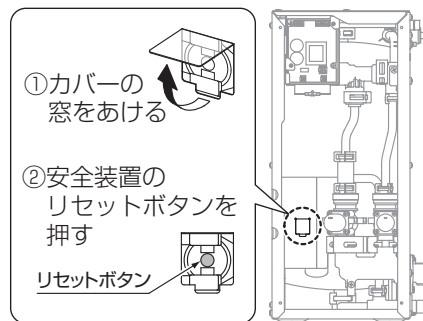


- (4) 前面パネルを取り外す。
- (5) 右図①②の手順で安全装置のリセットボタンを押す。

注意

製品内部が高温になっている場合があります。カバーおよびリセットボタン以外は触れないでください。

- (6) 「10 試運転 (P.6)」の手順に従って、動作確認を行ってください。



上記の点検を行っても吐水しない場合は、お客様専用窓口にご相談ください。
(連絡先は取扱説明書の裏面をご確認ください。)